

# みんな集まれ！一緒に遊ぼう

## みんなのひろば。そだちのひろば

市は、地域の施設などで親子が集い、子どもの年齢に合わせた遊びや情報交換ができる「地域みんなのひろば」、同じ年齢の子を持つ保護者の連続講座「そだちのひろば」を実施しています。

子育て支援センター職員や同年齢の子を持つ保護者と交流しませんか。

手遊び、絵本の読み聞かせなど。無料（親子の名札・靴袋持参）。開催日など詳しくは、市ホームページ（下記）から読み取り可で確認を。



### みんなのひろば

育児相談、親子遊び、体操、育児相談など詳しくは、市ホームページ

開催日など詳しくは、市ホームページ

育児相談、外部講師による学習会、親子交流を通じた仲間づくりなど。無料。

会場	曜日	対象
サンシティホール	木	0歳、1歳～就学前
中野西センター	木	0歳、※1歳～就学前
北センター	金	0歳、1歳～就学前
大鹿交流センター	水	1～3歳
	金	0歳、1～3歳
ラスタホール	月	0歳
	木	1歳～就学前

いずれも午前10時～11時半。定員各10組（※は8組）。

会場	曜日	対象
図書館「ことば蔵」	火	1期=2021年4月2日～7月31日 2期=8月1日～11月30日 3期=12月1日～22年4月1日 生まれの第1子
北センター	水	生まれの第1子

いずれも午前10時～11時20分。定員各12組。

会場	時期	対象
子育て支援センターむくむくルーム	4～6月	2019年4月2日～20年4月1日生まれ
	7～9月	2020年4月2日～21年4月1日生まれ
	10～12月	2020年4月2日～21年4月1日生まれ
来年1～3月		

いずれも水曜（全8回）午前9時45分～11時15分。定員各15組（初参加の人優先。「ひよこ」経験者も可）。

### 協力をお願いします

#### ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ人道危機救援金を郵便振替で次の通り受け付けています。口座番号=00110-2-5606。口座加入者名=日本赤十字社。受付期間=5月31日まで。通信欄に「ウクライナ人道危機」と記入を。振替手数料は、窓口で取り扱いは場合は免除。受領証の発行を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と記入を（同証は寄付金控除申請に利用可）。

市地域・高年福祉課 ☎784-8099

### 多発しています 死者を伴う住宅火災

死者を伴う住宅火災が多発しています。1月1日～2月21日の火災による死者は4人で、既に過去10年の年平均1.5人を大きく超えています。



住宅火災から命を守るため、次の4つの習慣と6つの対策を実践し、条例により寝室への設置が義務付けられている住宅用火災警報器は定期的に点検しましょう。【4つの習慣】▷寝たばこは絶対しない、させない▷ストーブの周りに燃えやすいものを置かない▷ガスコンロを使うときは火のそばを離れない▷コンセント周りを掃除し不必要なプラグは抜く。

【6つの対策】▷安全装置の付いた機器を使用▷住宅用火災警報器の定期的な点検・交換▷部屋を整理整頓し防災品を使用▷消火器の設置、使い方を確認▷避難経路・方法を確認▷地域ぐるみの防火対策。詳しくは、市ホームページ（二次元コードから読み取り可）で確認を。



市消防局予防課 ☎783-0799

## 会計年度任用職員を募集

市教委は、子育て支援センターで働く子育てコンシェルジュとアドバイザーを次の通り募集します。【※アドバイザー】▽資格Ⅱ保育士資格、幼稚園・小学校教諭免許のいずれかを持つ人▽勤務Ⅱ週4日16時間▽人数Ⅱ若千名▽時給Ⅱ1千250円。【保育士登録者を募集】市教委は、市立保育所などで働く保育士を募集します。

超現実的な絵画を描きつづけ、激しく変遷する美術潮流のなか「私は私であればよいのであって、その他の何者でもない」と語り、独自の画風を孤高に貫きました。

一方で、明治・大正・昭和と目まぐるしく移り変わる時代のなか、混濁する社会と生きる人々を見つめて自身の思想を変容させ、40点もの絵画に投影しました。戦争に見た生死、仏教美術と土俗信仰に表れた人間の本能、神秘に満ちた広大な宇宙を表した大作は、いつの世も変わらず人々の内に渦巻く想いをあらわにしており、現代の私た

ちの心にも響くことでしょう。さて、今春の4月、同館は名称を「市立伊丹ミュージアム」と改め、博物館の機能を加えた文化拠点として生まれ変わります。

従来の展覧会や講座などの事業に加え、美術・工芸・歴史・俳諧の分野を横断したハイブリッド展や、「まち」と「ひと」をつなげるイベントなどの新たな事業も展開していきます（本紙1・8面に関連記事）。

「不易流行」を体現する市立伊丹ミュージアムにも期待してください。 美術館 ☎772・7447。

## 伊丹の広場



小牧源太郎「印蝶陀羅尼」(1972年)

松尾芭蕉が説いた俳諧の理念に「不易流行」という言葉があります。移ろう時代のなかには決して変わらぬもの（不易）と絶えず変わるもの（流行）があり、どちらか一方ではなく両方を取り入れることが大切だという意味です。この理念はあらゆる物事に通じているものとし

て、多くの場面で引用されています。日本のシュルレアリスム（超現実主義）の草分けの一人である画家・小牧源太郎（1906～89）は、この言葉が好きでした。京都で活躍した小牧は、戦前の初期シュルレアリスム運動に参加して以来50年にわたって

「不易流行」を体現する市立伊丹ミュージアムにも期待してください。 美術館 ☎772・7447。

### 伊丹一句(19)の日

## 入選作品を発表

俳諧文庫は、昨年10～12月の「伊丹一句(19)の日」に投句のあった計2千455句の中から特選3句、入選57句、佳作47句を決定しました（入賞作品は同文庫ホームページで発表）。

◆第40回テレホン童話作品を募集 ◆「10月」くりごはん月のような色づかい「西川奏大」11月「信金のバイクからやか柿の秋」松田夜市「12月」あめ色のおでんの大根はんぶんこ「武田奈々」

◆「伊丹一句の日」を開催 俳諧文庫は、3月19～21日、形式にこだわらない自由な俳句を募集します。俳句を詠んだことがない人も気軽に投句を。同文庫ホームページから投句もできます。無料（特選・入選者には賞品あり）。

◆第40回テレホン童話作品を募集 ◆「10月」くりごはん月のような色づかい「西川奏大」11月「信金のバイクからやか柿の秋」松田夜市「12月」あめ色のおでんの大根はんぶんこ「武田奈々」

◆「伊丹一句の日」を開催 俳諧文庫は、3月19～21日、形式にこだわらない自由な俳句を募集します。俳句を詠んだことがない人も気軽に投句を。同文庫ホームページから投句もできます。無料（特選・入選者には賞品あり）。